



原点 に立って、 未来 へステップ

■今月の強調目標

EF/JEF

2015-2016 年度
東日本区理事通信

第 11 号

2016年 5月1日発行

理事メッセージ 東日本区理事 渡辺 隆

4 月9日(土)、10日(日)、第3回東日本区役員会を石和温泉で開催いたしました。

いよいよ今年度のまとめ、そして次年度利根川理事年度の最重要課題でもあります方針、また予算案の承認など、多くの案件を承認頂きました。天候に恵まれ、日曜日のエクスカージョンは桃の花に囲まれた、まさに桃源郷でワイン片手に昼食をとり、目の前を東京一名古屋間を40分で結ぶ未来の乗り物—2025年に開通するリニア新幹線—の実験線が通過する、その向こうの雪景色は南アルプス、そして八ヶ岳連峰です。その景色の主演の桃の花も、若葉が鮮やかな景色に変わりました。

皆様つつがなくお過ごしでしょうか。

この夢のような景色を見た数日後、4月14日に熊本の地震が発生しました。4月16日は東京で恒例の東西日本区理事連絡会議が開催されました。ご承知のとおり、

西日本区次期理事は熊本にしクラブの岩本悟様です。突然の出来事に会議の変更もできず、議題を変更し、熊本地震支援のため日本YMCA同盟島田総主事も加わり、熊本YMCAからの連絡を得ながら東西日本区で協議をいたしました。ご承知のとおり、急を有する問題です。

東日本区は熊本YMCAに対し、1,000,000円の義捐金を拠出することを持ち回り役員会で承認をいただき、実施させていただきました。

一刻も早く、地震が治まりますこと、被災者に支援の手が差し伸べられますことを願っています。そして、次年度西日本区岩本理事年度が力強くスタートいたしますことを願っています。

いよいよ、6月4日～5日の長野で行われます東日本区大会まで、ほぼ一ヶ月となりました。まだ、登録がお済みでない会員の皆様、今までにない大会プログラムでお迎えしたいと準備を重ねています。長野善光寺はすべてに開かれたお寺です。ぜひ、お待ち申し上げます。

強調目標

JEF(東日本区ワイズ基金)強調月間に寄せて

JEF委員会委員長 村杉克己(東京北)

この基金は、第51回熱海国際大会(1975年)の際、大会開催のため、会員が積み立てた拠出金と国際協会からの還付金を基本財産とする、「アタミ基金」として設立し、その後「日本ワイズ基金」として運用され、1997年7月1日、日本区が東日本区と西日本区として発足したのを機に、同基金は東西に分割譲与され、「東日本区ワイズ基金」となりました。基金の目的はワイズダムの、安定的かつ継続的な組織と事業の発展のための基金とします。必要に応じ、区の組織強化、国際交流活動、YMCAの働き、基金の目的達成のための支援などに活用されます。基金の促進・充実には会員お一人お一人が、又クラブとして、ワイ

ズメンズクラブに関わることにより、一年クラブ活動が出来たこと、クラブ役員・部役員・区役員を終えて、クラブの周年記念、家族を通しての喜び、感謝の気持ちを表す機会として、おさげ下さるようお願いいたします。

《JEFニュース》

●4月9日・10日開催の第3回東日本区役員会において、JEF規則改定案が承認されました。これは、基金からの高額な支出について、その決定過程、決済基準を、規則上明確にした方がよいとの意見があり、見直すこととなったためです。

●熊本地震支援金として、100万円の拠出要請が渡辺理事からあり、JEF委員会として承認しました。

《熊本地震支援募金のお願い》

去る4月14日に発生しました、熊本地方を震源とする地震は、今だに余震が続き予断を許さない状況です。被災された多くの皆様に、心よりお見舞い申し上げます。日本YMCA同盟および西日本区からの情報によりますと、熊本YMCAの施設も被害を受け、また、熊本YMCAが指定管理をしている益城町の益城総合運動公園・体育館は避難所になっており、YMCAの職員が懸命な支援活動に携わっております。熊本のワイズメンも家屋の損壊等で避難生活を強いられています。

東日本区としては、日本YMCA同盟、西日本区とも情報を共有しながら支援募金活動を行うことに致しまし

た。各メンバー、各クラブ、各部が一体となって支援活動にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

支援活動が長期化することが予想されることから、期限を設けませんが、一次的に今年度末(6/30)で一旦集計したいと思います。

送金先 <ゆうちょ銀行>

口座名 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

口座番号 00110-0-362981

(通常の東日本区の振替用紙をお使いください。その際に「熊本支援」とお書き添え下さい)。他の金融機関から送金する場合は、ゆうちょ銀行019支店(当座)0362981へご送金下さい。

書記 報告

▼第3回東日本区役員会

書記 仙洞田安宏

今年度の第3回役員会が4月9日(土)、10日(日)の二日間にわたり、今年度、次年度の役員が集まり、桃の花満開の甲府盆地石和温泉・富士野屋夕亭で開催されました。



議案審議においては、以下の議案が審議され、いずれも承認されました。

- ①第21回東日本区大会ホストクラブー沼津クラブから立候補があり承認。
 - ②次期東日本区事務所長選任一今期同様、理事が兼任することで承認。
 - ③東日本区会計決算・監査報告の承認方法変更一現行は、次年度の代議員会で承認であるが、年度終了後郵便による議案処理で承認を受けるシステムに変更しスピードアップを図る。
 - ④東日本区ワイズ基金運営委員会規則改定
 - ⑤2016-2017年度東日本区理事方針
 - ⑥2016-2017年度東日本区予算案
 - ⑦プルタブ収集事業をユース委員会として終了一次年度は地域奉仕委員会が管掌する。
- 今回の役員会は次年度役員も出席し、次期への準備も本格化してきました。

▼東西日本区理事連絡会議

東西日本区の現・次期キャビネットが集まり、今年度の報告と次年度の方針等を確認・情報交換する連絡会議が4月16日(土)、東京四谷の日本YMCA同盟会議室で開催されました。二日前に発生した熊本地震の影響で、次期西日本区理事キャビネット(岩本悟次期理

事・熊本にし)は欠席となりましたが、急遽議題を変更し、熊本地震に対する支援について、島田茂・日本YMCA同盟総主事にも出席頂き、協議しました。

この他、東西日本区大会の日程調整、東西交流会、国際大会(台北)へ向けての協調態勢、ワイズメンバーワールドの翻訳担当等について話し合いました。

国際 交流

事業通信

国際・交流事業主任

柳澤 岳(松本)

この度の熊本地震で被害を受けられました方々に、心からお見舞いを申し上げます。いまだ余震が続いており、また避難を余儀なくされておられる方々の御心労ははかり知れず、片時も心から離れることはありません。皆様の御無事をお祈り申し上げます。

今期もロールバックマラリアへの多くのご支援を下さり誠にありがとうございました。4月25日は世界マラリア

デーでありました。

昨夏、蚊には気の毒ではありましたが、殺虫蚊帳の効果がどれほどのものか実験をしてみました。私の血を吸いにやってきた蚊を吸血まで待ち、飛び立つ直前にそっと捉えて蚊帳の中に放ったところ、30秒ほどで様子がおかしくなり、1分で酩酊状態、7分ほど経つと羽ばたきもなくなりました。無名のこの蚊の命に対し、この蚊帳に確かな効果がある事をワイズメンバーにお知らせする事を誓った夏でありました。

(実験動画撮影しました)

地域 奉仕

事業通信

地域奉仕事業主任

相川 達男(東京江東)

ブの所属するYMCAなどに確認をしながら、全クラブの状況を把握したうえで今期中にご報告をしたいと思えます。

▼CS写真コンテスト締切は5月10日に

「CS写真コンテスト」に関して、4月末の応募締め切りを前に写真をお送りいただくクラブが増えてまいりました。4月末日を締め切りとしておりますが、募集期間を5月10日まで延長いたしますので、皆さまゴールデンウィーク中の写真なども加えていただきご参加くださるようお願いいたします。

尚、応募いただいた写真は、長野東日本区大会で展示、皆様に投票していただき、その結果を踏まえて渡辺理事、プロの写真家の標あずさ部部長、地域奉仕事業委員で選考させていただき大賞を発表いたします。

▼YMCA会員率調査

本年1月に会長様宛にお願い、実施いたしました東日本区の各クラブのYMCA会員登録状況の調査ですが、ある程度のクラブから回答の数値が出てまいりました。いまだ100%の回答率にはなっていませんが、4月20日現在、60クラブ中、42クラブから回答を得ています。

その結果、100%のクラブが回答済みクラブの約半数の20クラブ、50%を下回っているクラブが4クラブ、会員登録済みメンバーの平均の割合は81.6%となりました。各クラブ、なかなか全員のメンバーが集まる機会がなく集計が取れないなどの状況のようですので、各クラ



北海道部より 2件の投稿がありました！

北海道部次期役員研修会報告

北海道部部长 伏木 康 (札幌)

4月23日(土)、東京ドームホテル札幌において、北海道部の次期役員研修会が開催されました。

①札幌クラブより7名、②300km離れた北見クラブより3名、③200km離れた十勝クラブより6名、④札幌北クラブより6名、計22名が参加しました。

東日本区より、利根川恵子次期理事をお招きし、90分、まさにInteractiveな研修会でした。

冒頭、9日前に発生した熊本の震災の情報、国際・アジアエリアの現況、東日本区の現況を確認しました。続いて、次期理事及び事業主任の方針について説明を受けました。

更に、北海道部長方針を踏まえた部の運営について、ブレインストーミングを行いました。「部の活性化のために、部役員は何ができるか」というテーマで、3つのグループに別れて議論しました。高齢化が進んでいる

北海道部ですが、ブレインストーミングをスタンディングで行ったため、次から次へ前向きな発言があった気がします。

最後に、各種献金等の送付方法、次期クラブ運営に関する事務手続きのポイントについて、再確認しました。

今期の北海道部では、東日本区への献金の送付が大幅に遅れ、各方面にご迷惑をかけてしまいました。

研修会終了後の懇親会では、参加者全員が自由にスピーチを行い、相互理解を深めました。また、会を通じて献金が集まり、①熊本大震災の支援に24,000円、②東山荘の建替資金用に17,750円送金することとしました。

8月27日(土)の2016-2017年度北海道部部会は、十勝の幕別温泉グランヴィリオホテルで開催されます。ここは1999年のアジア大会で主会場になった施設です。懇親会場の十勝ヒルズも十勝平野を一望できる施設との案内がありました。

この報告が皆様に届く頃、北海道は桜の開花を迎えます。これから暖かくなるに連れて、我々の行動もより積極的になります。是非、次期の北海道部をご期待ください。



AYC in 京都に参加して

船越谷 充昭 (札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校1年)

私は2015年7月29日～8月2日、京都で行われた「アジア地区ユースコンボケーションin京都(AYC)」に参加することが出来ました。アジア6か国48名の仲間たちと5日間寝食を共にして、語り合い、励ましあい、笑いあい、充実した時間を過ごすことが出来ました。

AYCが始まる前の準備期間中、私は少し不安でした。それは異なる国の人々と英語でしっかりコミュニケーションがとれるのか、各プログラムのテーマについていくことが出来るのか、ということでした。ところが、実際に参加してみるとそのような不安は一気にふっ飛びました。そのような不安があったということをお忘れするくらい、自分にとってとても濃い時間がそこにはありました。

私はいくつかの国に関して様々なイメージを持っていました。例えば、「議論好き」とか「頑固」とか「のんびり」とか「怠惰」とか。しかし、数日ともに生活してみると、皆、人種、国籍、言語、文化、肌の色の違いを超えて友人になれるユニークな個性を持った一人の人間であることが分かりました。

また、私が他の国を知らないと同じように、相手も日本を知らないということも知りました。「日本ではまだ刀を持ち歩いているのか？」と聞かれたのには絶句しました。日本に対する関心、期待はとても大きいものがあります。日本の経済力、テクノロジー、マンガだけでなく、それを生み出した日本人、日本の文化、日本の歴史に対

する関心を強く感じました。

“Learning to have peace What can do?”という基調テーマで5日間語り合ったのですが、「平和」に対する願いは同じでも、それぞれの国の歴史、置かれた状況によって見方、対処は様々に異なるのだという現実にも気づかされました。

AYC in 京都は私が自分の課題を見出し、成長する良いきっかけになってくれました。まず、自分の意見を述べるための語学(英語)力が足りないと強く実感出来ました。また、平和やその他の事柄に対しても日本の立場からだけでなく、広い視野で考えなければならぬことを教えられました。これらの経験はこれからの人生を生きていく上で、大きな力になってくれると思っております。このような素晴らしい機会を与えて下さったワイズメンズクラブに対して心から感謝しています。



左：舟越谷充昭さん

右：中田千鶴ユース事業主査

《付記》

船越谷さんはAYCの後、見違えるように積極的になり、英語を猛勉強して、見事「英検2級」に合格し、さらに上を目指しています。北海道YMCAのボランティア活動でもリーダー的存在です。(北海道部ユース事業主査・中田千鶴/札幌クラブ)



東日本区大会 6月4日(土)・5日(日)

いよいよ長野東日本区大会まで1ヶ月と迫ってまいりました。遅くなりましたが、間もなく登録確認書が皆様のお手元に届きますのでご確認下さい。実行委員会から幾つかのお知らせです。

▼ **最終登録締切りを5月16日(月)**とします。
4月30日現在の登録者は390名です。目標まであと一歩です。うっかりお忘れになっている方、ご確認下さい。廻りのメンバーにお声掛けお願い致します。

▼物品販売の受付

物品販売ブースの利用を希望されるクラブは申込書に

必要事項を記載の上、お申し込みください。申込書は森本または副実行委員長・水崎よし子までご請求下さい。

▼ネームカードケースをお忘れなく

東日本区のメンバーの皆様は、ネームカードを入れるケースをご持参下さい。お忘れの場合は当日会場で購入して頂きます。

▼クラブバナーもお忘れなく

クラブ会長さんは、バナーセレモニーがありますので、クラブバナーを必ずご持参下さい。事前に会場に送ることは出来ませんのでご注意下さい。また、部のバナーがある部長さんもバナーをお持ち下さい。

長野クラブ会員一同、心からお待ちしております!

(大会実行委員長:森本俊子)



国際BF代表来日のお知らせ!

東日本区トラベルコーディネーター 長澤山泰

6月、長野市に於いて開催されます東日本区大会に合わせてBF代表が南米のチリ・バルパライソより来日いたします。東日本区では6月2日より約1週間受け入れることになり、既に東新部、富士山部、湘南・沖縄部、あずさ部、関東東部の部長には、ご多忙のところ恐縮なのですが、YMCA表敬訪問、歓迎食事会・会合・研修・観光・ホームステイなどの有意義な滞在スケジュール作成をお願いいたしました。BF代表の受入クラブ及びホストの皆様のご協力をお願い申し上げます。

① BF代表者氏名:クリスチャン グリン イノストロザ MR (CHRISTIAN GREENN INOSTROZA、38歳・男・YMCA

勤務・チリ・バルパライソ市在住)

②「生年月日」1978年1月6日 ③「国籍」チリ

④「所属クラブ」Y'S MENS CLUB VALPARAISO

(バルパライソ クラブ (18名) 2010年チャーター、ラテンアメリカ区所属)

⑤「職業」YMCA勤務(2004～)

⑥「言語」スペイン語、英語 ⑦「配偶者」なし

⑧ 受入期間:2016/6/2(木)成田空港着 ~ 6/9(木)羽田空港発(台北向け)予定

⑨ 旅程 6/2:都内1泊(東新部)、6/3~4:コンフォートホテル長野2泊、6/5:富士山部1泊、6/6:湘南・沖縄部1泊、6/7:あずさ部1泊、6/8:関東東部1泊、宿泊を挟んだ前日午後より翌日午前までが各部の基本担当となります。



会員増強事業主任 池田 直文(熱海) 事業通信

新クラブ情報

4月2日に設立総会を終えた、石巻広域クラブは5月28日(土)チャーターナイトを迎えます。会場は石巻グランドホテル、チャーターメンバー21人でのスタートです。

一方、東京多摩センター地区で進めてきました新クラブは、名称が「東京多摩みなみクラブ」と決まり、5月22日(日)に設立総会を、7月17日(日)にチャーターナイトを予定しています。

出席率、インビテーションの集計

今年度のまとめの時期となりました。クラブ会長様、EMC事業委員長様には、例会出席率とインビテーションキャンペーンの実績を部会員増強事業主査および部長へ報告をお願い致します。東日本区大会での表彰の対象となりますので、お間違えのないようお願い致します。

4月の新入会者紹介

☆古屋朝則さん(千葉) ☆片山進一さん(東京西) ☆浅沼準一朗さん(厚木)



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。永年に亘るワイズダムへのご奉仕に感謝申し上げます。

■星野 達雄 様(信越妙高) 4月26日ご逝去

●これからの予定

- ・5月21日(土):横浜つづきクラブ10周年記念例会(富士山Y)
- ・5月22日(日):(仮)東京多摩みなみクラブ設立総会
- ・5月28日(土):石巻広域クラブチャーターナイト
- ・5月29日(日):御殿場クラブ30周年記念例会(東山荘)
- ・6月4日(土)・5日(日):第19回東日本区大会(長野市)
- ・6月18日(土):第5回オープンフォーラムY (オリンピック記念青少年総合センター) 詳細は東日本区ウェブサイトをご覧ください。